

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内の一部で避難指示が解除され、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

# 大川原蛍観察会

6月中旬、「おおはふるさと塾」が開催した大川原地区の蛍を観察する会に同行しました。

「あ、いた!!」  
「こっちにもいるよ」  
あちこちで蛍の光を確認できました

## 今年も蛍がいましたよ

町民による任意団体「おおくまふるさと塾」は、東日本大震災の前から、故郷・大熊の良さを町民自ら発見し、まちづくりにいかしているとうと、活動してきました。

「蛍が生き残ってくれていたことを確認。うれしい限りです」と、ながく塾に携わってきた鎌田清衛さん。塾長の渡部正勝さんは「一匹でも多く増えていくことに期待したいです」と喜んでいました。

ゆたかでもいれりな自然を教えるの。

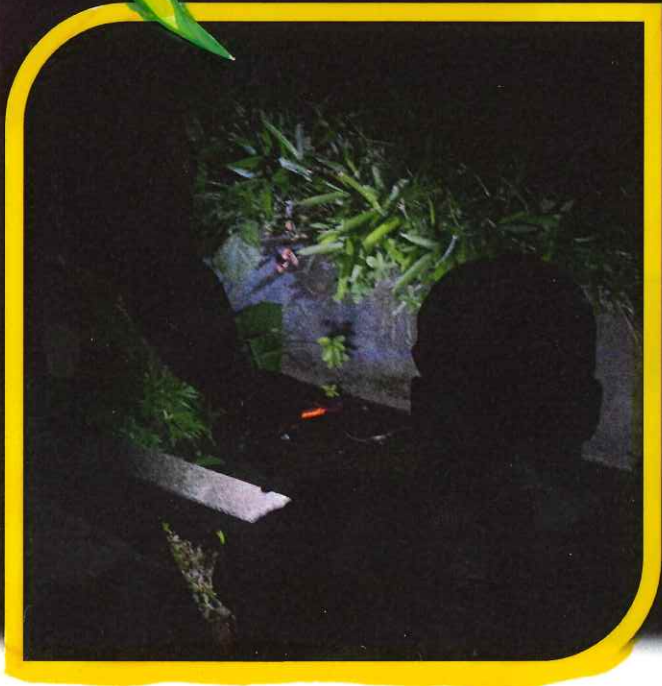
今回確認したのは、いずれもヘイグボタルの幼虫。ゲジボタルの生息が気になるところです……。

かわいくて  
ありがた〜。



「うわあ、たくさん!!」  
と歓声があがりました。

「いるかな……」  
午後7~9時、こじん  
水辺を回りました。  
いつまでも見えて飽き  
ない光のショーです。



写真が下手すぎて、見え  
ませんが、あちこちで、  
絶えず蛍が点滅して  
いるのです。  
ふるさと塾では、蛍の  
再生を願い、幼虫のエサと  
なるカワニナという貝を  
地区の水路に放流して  
きました。  
最も多くの蛍を確認した  
水路には大量のカワニナも。  
地道な活動の成果でしょうか。